

会報
第6号

Beyond the Horizon



発行: 宮古市国際交流協会 宮古市宮町一丁目1-80
Tel: 0193-62-3534 Fax: 0193-62-7030 Mail: info@miyako-kokusai.com

Homepage: www.miyako-kokusai.com
Facebook: www.facebook.com/miyako.international
多文化共生ラジオ: 毎週水曜日午後6時半～

客船 スターレジェンド

今年2回目の宮古港寄港

9月24日、外国客船スターレジェンドが、5月に続いて今年2回目の寄港を果たしました。アメリカアラスカ州のワードを出発し、太

平洋を横切って釧路から東京へと向かうという、前回とは逆方向のクルーズの途中で宮古に立ち寄つたものです。今回は、学生ボラ

ンティアとして、中学生・高校生・短大生合わせて62名、そして一般ボランティアとして5名の方にご協力いただきました。宮古駅前、末広町、浄土ヶ浜、道の駅なあと、藤原埠頭での外国人への案内業務の補助のほか、藤原埠頭での着物の着付け体験、店舗、宮古ラーメンのお振る舞い、外貨両替のお手伝いなどをしていただきました。



色鮮やかな着物（浴衣）が注目を集めていました

また、宮古高校書道部の皆さんには、外国人の名前を漢字、平仮名に直して毛筆で色紙に書くというおもてなし業務を担当していただき、大



山口太鼓の会の皆さんと一緒に和太鼓を体験

好評を博しました。外国人観光客からは、「若い学生の皆さん、私たちがもてなそう、助けようという気持ちが伝わってきて、とてもうれしかった」という声も聞かれました。夕方には、山口太鼓の会の皆さんによる和太鼓の演奏も行われ、勇壮な太鼓の演奏に外国人の皆さんは驚嘆し、大きな拍手を送っていました。また、和太鼓挑戦にはたくさんの方々が参加し、山口太鼓の会の皆さんと一緒に大喜びで太鼓をたたいていました。夕方6時の出港の



浴衣を試着した外国人のお客様と一緒に記念撮影

際には、たくさんの方の市民が
お見送りのために藤原埠頭に集まってくださいます。
山口太鼓の演奏に送られながら夕闇の中を東京に向けて遠ざかっていくスターレジェンドを、ペンライトを振って見送りました。

来年の外国客船の寄港と受け入れ態勢

スターレジェンドは、来年の5月8日にも再び宮古港に寄港する予定です。また、その約2週間前の4月25日には、乗客乗組員合わせて約4千



藤原埠頭での外貨両替の様子

人という、大型の外国客船、ダイヤモンド・プリンスが宮古港に初めて寄港します。
今回のスターレジェンドの寄港では、英語での対応を担う通訳スタッフとして、18名の方にご協力いただきました。それぞれのスタッフが自分の役割をしっかりと理解し、刻々と変わる状況の中で、臨機応変に対応していました。

ヤモンド・プリンスの寄港では、4千人もの外国人のお客様に対応するため、今回よりもさらに多くの通訳スタッフおよびボランティアが必ず必要となります。
通訳スタッフやボランティアとして外国人をもてなすことに関心のある方は、

宮古市国際交流協会までご連絡ください。また、当協会では、外国語での対応が可能な人材を育成するため、外国語や観光に関する様々な研修会やセミナーを開催していますので、このような機会を活用

していただきたいと思っております。
今年2度にわたるスターレジェンド寄港で得た経験や、浮かび上がった課題や改善すべき点を基に、来年以降の外国客船対応の準備を進めて参りますので、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。



シャトルバス内での案内

連絡先
0193(62)3534
担当 伊藤

洋上花火見学船

宮古夏まつりの「海上花火大会」に合わせて、遊覧船に乗って海の上から花火を眺める「洋上花火見学船」というイベントを、宮古浄土ヶ浜遊覧船と合同で、8月12日の夜に開催しました。

約100名の参加者を乗せて、遊覧船は花火がよく見えるポイントへと進みました。夏の盛りとはいえ、少し肌寒いほどの涼しい浜風に吹かれ、



浄土ヶ浜遊覧船の窓から見た花火

陸の上で見るとは違う趣の美しい花火を眺めながら、参加者の皆さんは三陸の短い夏を堪能していました。

昨年と同じようなイベントを開催し、たくさんの方にもご参加いただき、非常に好評でした。来年も同様のイベントを開催する予定ですので、今年参加できなかった方はぜひ来年ご参加ください。

みやっこタウン2018 「みやっこ留学」

8月19日にシーアリーナで開催された「みやっこタウン2018」に、宮古市国際交流協会も参加しました。

（疑似通貨ベスカ）を使って、買い物を楽しんだりサービスを受けたりしながら、社会の仕組みを学びます。

みやっこタウンとは、架空のまちを舞台とした、小学生向けの社会体験プログラムです。子供たちは、職業を選択して働き、その対価として得た給料

宮古市国際交流協会では、「みやっこ留学」という名前のブースを出展しました。このブースには、参加したい子供は、まず受付でパスポートを取得

し、その後、ALTや市内在住の外国人と一緒に英語のアクティビティを楽しんだり、民族衣装を試着したりしました。また、マレーシアのご家庭とスカイプ中継を結び、現地の料理や宗教について学びました。

あと何年かすると、この小学生たちの数人は、本当に海外に留学しているでしょうね。



パスポート取得手続き中



英語のアクティビティに挑戦

観光通訳養成講座

8月18日から4回にわたり、岩手県立大学盛岡短期大学のパトリック・マーハー先生を講師にお迎えして、「観光通訳養成講座」を開催しました。毎回20名ほどの方が参加してくださいました。

アメリカ、オハイオ州出身のマーハー先生は、日本語が非常に堪能で、冗談を交えながらスピード感のある授業を進めてくださいました。

先生は、細部にとらわれ過ぎず、話の要点は何なのかをつかんだ上で、自分の知っている言葉を使って訳すことの重要性を強調されていました。今回の研修は主に実践形式で行われました。カードに描かれた絵を見て英

語で説明する練習や、先生が日本語で話した文章をすぐに英語に訳すという、瞬時の判断と機転が必要とされる通訳技術を身に付けるための練習などを行いました。

非常に内容が濃く、笑いのあふれる楽しい研修になりました。参加された皆さんは、積極的に先生に質問しながら、生き生きとした表情で研修に取り組んでいました。

「観光通訳養成講座」の参加者、および当協会の通訳スタッフを対象に、9月17日と18日の2日間の日程で、石巻港視察研修を行いました。

石巻港 ダイヤモンド・プリンセス 受入体制視察研修

「観光通訳養成講座」の参加者、および当協会の通訳スタッフを対象に、9月17日と18日の2日間の日程で、石巻港視察研修を行いました。

来年の4月25日には、乗客乗組員合わせて約4千人という大型の外国客船、ダイヤモンド・プリンセスが下りてくると、外国人のお客様で大混雑になり、シャトルバス乗り場にもタクシーの列ができました。

まず、港に入ってくるダイヤモンド・プリンセスの大きさに圧倒されました。そして船からお客様が下りてくると、外国人のお客様で大混雑になり、シャトルバス乗り場にもタクシーの列ができました。



メモを取りながら真剣に受講する参加者の皆さん



グループで通訳技術を練習中



通訳スタッフが手薄で特に混乱していたタクシー乗り場では、宮古からこの研修に参加した通



客船の乗客と地元の人で混雑する埠頭の様子

訳の皆さんが急遽通訳を務めるという予想外の事態になりましたが、混乱した状況の中でどのように対応したら良いのかを身をもって学ぶ、良い経験の機会となりました。



宮古から研修に参加した皆さんが大活躍しました

驚くとともに、この船を来年宮古に迎えるために、どのように準備し、どのように対応したらよいかのアイデアを活発に話し合い、来年4月のダイヤモンド・プリンセスの宮古港への寄港に向けて、気持ちを引き締めていました。

7月5日から5回にわたり、「外国人観光客おもてなし研修会」を開催しました。5回合計で、144名の方に参加していただきました。今回は、「とにかくひ

が宮古港に寄港した際には、通訳スタッフや一般ボランティアとして、外国人乗客や乗組員への対応に大活躍してくださいました。



市職員の皆さんも大勢参加しました



読む、覚える、書くの繰り返しで英語を学びました

に表現したらよいのかを学びました。この研修会に参加した方うちの何名かは、この研修で英語の基本的な表現を学び、その後の「観光通訳養成講座」でマラー先生から実践的な通訳技術の訓練を受けた後、9月24日にスター

レジェンド
次回研修会は、11月から12月にかけて開催の予定です。「ハイクラス英語研修」というタイトルで、仕事で使える高い英語力を身に付けることを目標に研修を行います。たくさんの方の参加をお待ちしております。

外国人観光客 おもてなし研修会

を開催してきましたが、その成果が少しずつ形となって現れてきていることを感じています。

にほんご広場 ゴミの出し方研修



相談しながらゴミの分別に挑戦する参加者の皆さん

6月30日には、市内で大きく異なります。ゴミをほとんど分別せずに「ゴミの出し方研修」を行いました。
ゴミの出し方は国によっての収集日が決められてお

らず、いつでも好きな時に決められた場所の容器に入れる、というような国もあります。そのため、ゴミを色々な種類に細かく分別して、決められた曜日の決められた時間までに出さなければならぬ日本の方法に戸惑う外国人も多いようです。
研修会では、宮古市きれいなまち推進室の職員の方を講師に、特に分別が難しいゴミの出し方について学びました。それから、日本人と外国人の参加者が協力しながら、実際にゴミの分別に取り組みました。
宮古市国際交流協会では、宮古市が作成したゴミ分別辞典の英語版とやさしい日本語版を作りました。もし皆さんの近所やお知り合いで必要な方がいましたら、宮古市国際交流協会までご連絡ください。

平成30年度 第一回 インバウンドセミナー

7月23日には、市役所大ホールで「平成30年度 第1回インバウンドセミナー」を開催しました。

通訳として日本だけで

なく世界でも活躍されている河田裕子さんを講師にお迎えしました。河田さんは、今年開催された平昌オリンピック・パラリンピックでも通訳を務められました。

ご自身が通訳として長年外国人と接してきたご



ワークショップでの活発な意見交換

経験をもとに、これからさらに増加することが見込まれる訪日外国人観光客にどう対応したらいいのかお話しをしていただきました。

講演の後のワークショップでは、グループに分かれて、宮古市では具体的にどのような対策を取るべきかについて、活発な意見交換が行われました。

友好協力都市 中国 烟台市訪問



後藤先生と烟台市の張市長

業達医院に腎臓透析機を寄贈したことでした。

友好協力都市締結25周年を記念して、7月8日から12日までの5日間にわたり、公式訪問団が烟台市のほか、大連や北京も訪問しました。

烟台市

では、張市長を表

敬訪問しました。

また、烟台業達医院を訪問した際には、医院から後藤先生に「烟台開発区医学特別貢献賞」が授与されました。

烟台市にある総合大学の魯東

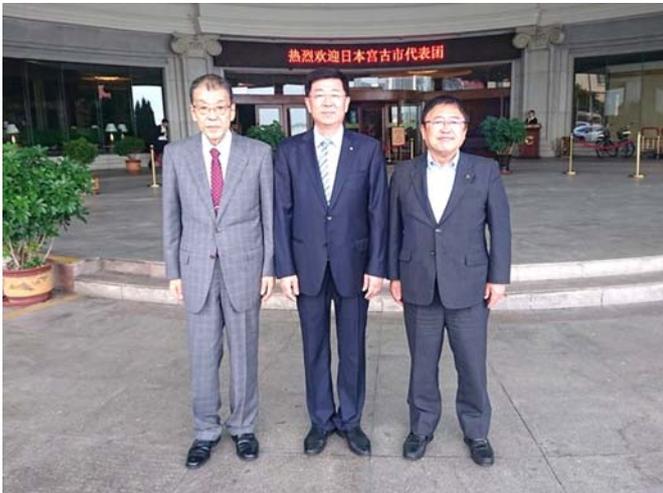
烟台市にある総合大学の魯東

烟台市にある総合大学の魯東

宮古市と中国の烟台市が友好協力都市になってから、今年の10月26日で25周年になります。友好関係が始まるきっかけとなったのが、宮古市国際交流協会・宮古市日中友好協会の会長である後藤泌尿器科皮膚科医院の後藤康文先生が、宮古市を通じて烟台市の烟台

大学を訪問した際には、中国で学ぶことに興味を持ちている宮古の生徒たちを受け入れたいという、素晴らしい提案もいただきました。

多くの人の努力や熱意によって、25年もの長期にわたって続いてきた宮古市と烟台市との良好な関係が、将来的にさらに発展するよう、様々な形で友好・協力関係を深めていきたいと思います。



烟台業達医院にて、左から後藤先生、鞠院長、山本宮古市長

ようこそ 宮古へ

ハンガリー出身で大阪在住のダニエルさんが、8月に宮古駅前の観光案内所にいらっしやいました。ダニエルさんは今回、重茂のトドケ崎灯台を踏破し、本州四端をすべて制覇しました。宮古では、ゲストハウス3710（みなど）に宿泊し、トドケ崎踏破をサポートしてもらったそうです。

日本を訪れる外国人観光客の旅の目的も多様化してきていることを日々感じています。先日は、不動明王マニアだというイギリス人旅行者が、長根寺を訪れるために

訪れるために



笑顔の素敵なダニエルさん